

ボートトラブルについて考えましょう

9月に出船中のトラブルが連発しました。1件は船内外機艇で、プロペラに絡まった釣糸をとるために推進器を一旦上げたものの、下から航行できなくなりました。船長はボートレスキューサービス BAN (以下 BAN) の会員では無かったため、海保に救助要請されましたが、最寄り港まで曳航される途中で運よく推進器が下がり、自力航行できるようになりました。原因は塩噛みと錆による摺動部の固着でした。もう1件は2ストローク船外機艇で、ガソリン送油機能のトラブルによってエンジン始動ができなくなりました。こちらは BAN 会員でしたので、すぐに BAN に救助要請され、BAN レスキュー艇の曳航によって無事帰港されました。

BANが活動を開始したこれまでの25年間で救助件数は4091件。この内エンジントラブルは2283件で56%を占めます。推進器故障やガス欠、バッテリーあがりを加えると何と87%に及び、いかに日頃の点検が大切かが伺えます。ガス欠とバッテリーあがりに関しては、出船前点検で防げるでしょう。しかし残りの事案は突発的なトラブルが原因と考えられ、点検で見つけることは難しいことです。

以前、当施設の保管艇が航行中トラブルに見舞われた例を上げますと、航行中に突然エンジンから異音が発生し、衝撃とともにエンジンフードが外れたとのこと。エンジンは停止し、その後復旧しなかったため BAN に救助要請され、曳航されての帰港となりました。トラブル原因を調べると、何とフライホイールがクランクシャフトの付根から折れていました。普通では考えられないトラブルに驚愕するとともに「BANに入って良かった～」と、そのご利用者が言われたのが印象に残ります。「出かける時は何でもなかったのに・・・」「前回はまったく異常が無かった・・・」、日頃メンテされていてもトラブルは起きます。どんなベテランでも、メカに強い方でも避けられないトラブルがあります。それが海です。そして海には修理工場もガソリンスタンドもありません。また海況は刻一刻と変化し、風に流され潮に流され波にもまれ

て、不安はさらに広がります。アンカーできる水深ならまだしも、100m以上の深度ではアンカリングもできません。そして日没・・・漂流のカウントダウンです。

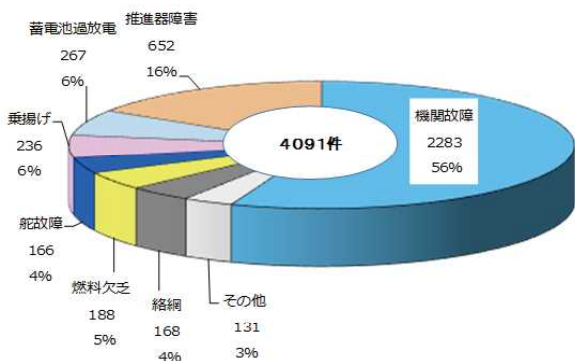
年会費のかかる BAN に比べて、海保による救助活動には要救者に費用はかかりません。しかし海保の基地は横須賀の長浦湾と江の島にあるため、救助要請から出動して到着するまでに時間がかかります。そして救助後に報告書を作成するために、かなりの時間を拘束されるということです。一方 BAN は最寄りのマリーナ (秋谷周辺では葉山マリーナ・佐島マリーナ・湘南サニーサイドマリーナ) からレスキュー艇が出動するため、到着までの時間がかかりません。さらに無料で曳航サービスが受けられます。18,000円の年会費で大きな安心が買えると思うのは筆者だけでしょうか。

BAN は会員でなくても救助してくれます。ただ要救者艇の所属マリーナとの確認やレスキュー艇基地とのやり取り、また救助費用支払いの確約など、連絡事項に時間がかかり、1時間や2時間はすぐに経ってしまいます。そして高額な救助費用・・・救助事案を伺うと救助形態や曳航の距離にもよりますが、5万円から40万円位までかかるようです。

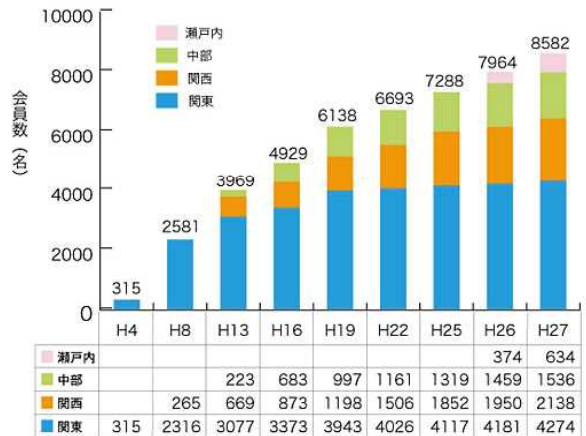
現在、秋谷船舶では65%のご利用者が BAN 会員です。安心してボートライフをお楽しみ頂いていると存じます。しかし35%の方はご自艇のレスキュー体制を確立されているのでしょうか。今一度、安全と安心について、ご検討頂きますようお願い申し上げます。



BAN取り扱い海難の種別件数 (平成4年7月～平成26年3月)



BAN会員数の年度別推移表



ボートレスキューサービスBANの出動事例

木更津港 盤州西方		措置概要 所要時間
機関故障	プレジャーボート	17:57 会員艇MB～ROCへ、上記位置付近で航行中、機関が故障(回転上がらず)し、航行に不安があり、救助を求めてきた。
		18:00 RSに出動を依頼。
		18:05 該船へ、救助船の手配済みを連絡。
		18:15 RS所有救助船が救助船基地から出動。
		18:53 救助船から、該船と会合、該船は微速航行可能なるも、航行に不安があるため警戒伴走で最寄りの安全なマリーナに向う旨の通報あり。ROC了承。
	19:50 同マリーナ着、救助完了。(¥187,920) 56分 BAN未加入者のため実費	

千葉県 洲崎西北西方		措置概要 所要時間
機関故障	プレジャーボート	07:33 会員艇MB～ROCへ、上記位置付近にて機関故障(オーバーヒート)のため航行不能となり救助を求めてきた。
		07:58 RSに救助出動を依頼。
		08:05 該船に救助船の手配状況を連絡。
		08:50 RS所有救助船が浦賀港から出動。
		10:34 該船と会合、曳航準備。
		10:37 該船所属マリーナ向け曳航開始。
		13:30 同マリーナ着、救助完了。
		13:55 救助船浦賀港帰着。(¥260,280) 181分 BAN加入者のため無料